

総合事業のサービスマスタの取込について

令和元年10月の報酬改定が行われますが、それに伴い、総合事業の単価も変更されています。（各自治体によります）この新単価を反映させるためには、各自治体が準備しているサービスマスタを事前に入手していただき、それを介五郎に取り込む必要があります。

弊社側で確認できた各自治体の状況は、ホームページの総合事業状況一覧にてご確認ください。

自治体 CSV マスタ（※本マニュアルで使用するファイル形式）

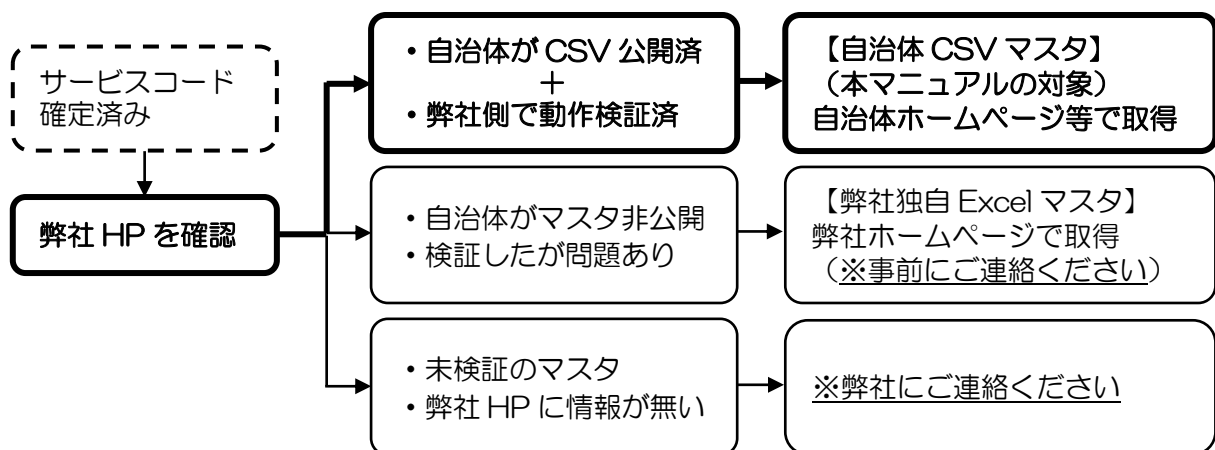
各自治体が公開する CSV 形式のサービスコード表のことです。こちらを使用する場合は、ユーザー様は自治体ホームページ等より CSV マスタを取得して、それを介五郎に取り込むことになります。
※自治体が公開していても介五郎で使用できない場合もあります。その場合は下記 Excel マスタによる対応が必要になります。必ず導入前に弊社ホームページにて動作検証済みか、ご確認ください。

弊社独自 Excel マスタ

自治体によっては CSV マスタを公開していない場合があります。また、公開していてもそのまま介五郎で使うことができない場合もあります。こうした場合は弊社側で介五郎への取込専用の Excel マスタを作成し、それを使用していただきます。

※独自 Excel マスタを使用する必要がある場合は事前に弊社までご連絡ください。

※新規に Excel マスタを作成する必要がある場合、ご連絡いただいた後に社内で作成・検証するので公開まで数日～十数日間の期間を要します。

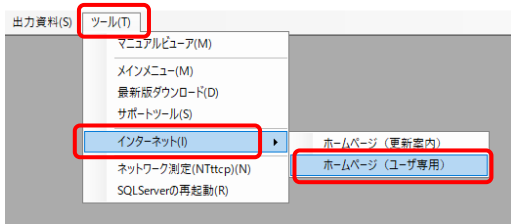


情報提供のお願い

サービスコード表は自治体によって公開・改変される時期がばらばらです。そのため、市町村が新たにサービスコード表を公開したり、単位数などの変更を決定した場合は、お手数ですが、弊社までおしらせいただきたく願います。

弊社連絡先（サポート部直通）：06-6975-5655

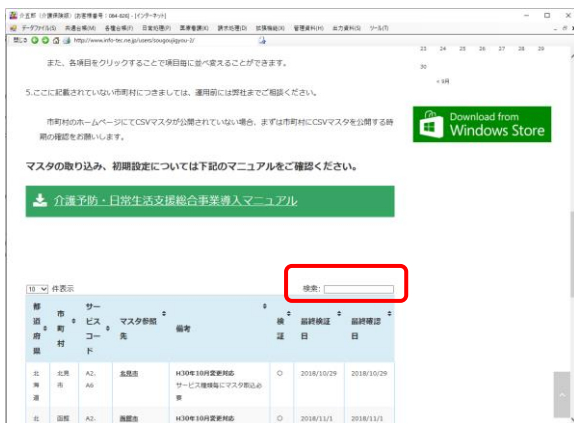
<サービスマスタの入手>



- ① 介五郎のメニューバー「ツール(T)」内の「インターネット (I)」-「ホームページ (ユーザ専用)」をクリックしてください。



- ② ユーザ専用ページが開くので、少し下にスクロールして「総合事業状況一覧」をクリックしてください。



- ③ 総合事業状況一覧ページを少し下にスクロールしたところに、都道府県別の一覧表がありますので、表右上の検索の窓に該当の市町村名を入力してください。

都道府県	市町村	サービスマスタ参照先	備考	検証	最終検証日	最終確認日
大阪府	大阪市	A2、A4、A6、A7	大阪市	○	2019/9/17	2019/9/17

- ④ 検索に入力した市町村名が抽出され表示されます。マスタ参照先の項目をクリックすると、各自治体のホームページをひらきます。サービスマスタ (CSV) を保存してください。
※マスタの表現は自治体により異なります。CSV やマスタと記載されたものをダウンロードしてください。

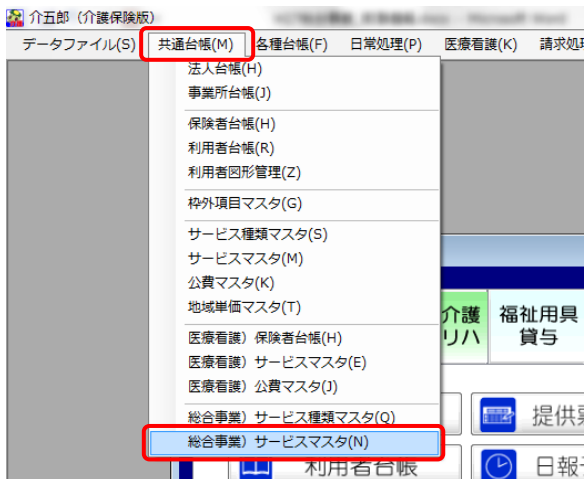
茨城県	守谷市	A2、A6	保存	H30年10月変更対応 マスタ記載の保険者番号の桁数が合わないため
-----	-----	-------	----	--------------------------------------

※特別な理由により、弊社にてファイル作成している場合、リンク先が保存ボタンになっています。クリックしてファイルを保存します。

<サービスマスタの取込手順>

注意！

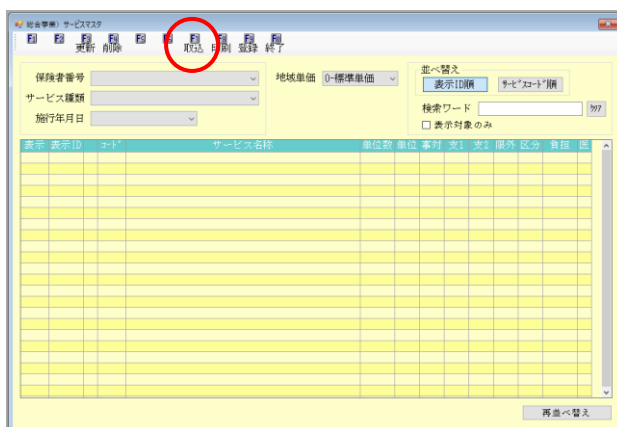
作業の前に、市町村のホームページなどからCSV形式のサービスマスタファイルを取得しておいてください。

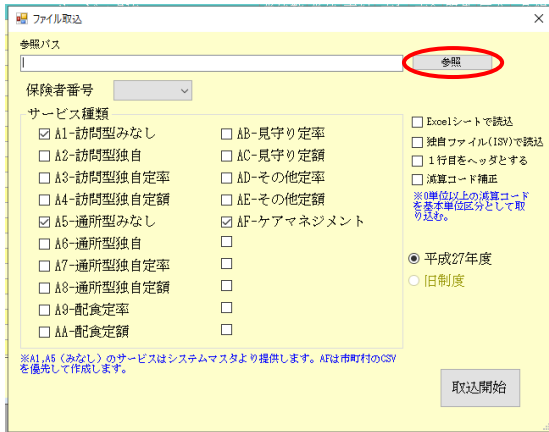


- ① 「共通台帳(M)」内の「総合事業)サービスマスタ(N)」または、メインメニューの「総合事業)サービスマスタ」ボタンをクリックしてください。

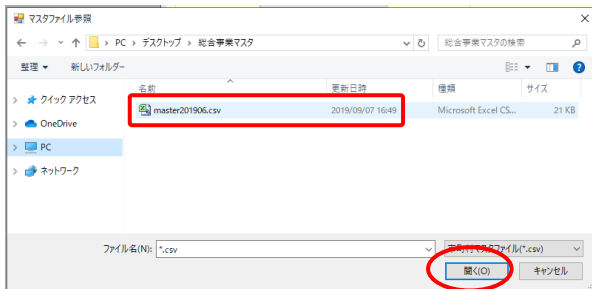


- ② サービスマスタ画面が表示されたら **F7 取込** をクリックしてください。

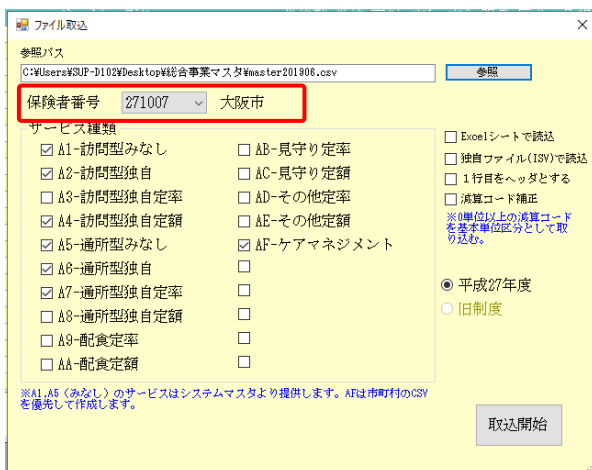




- ③ ファイル取込画面が表示されたら右上の参照をクリックしてください。

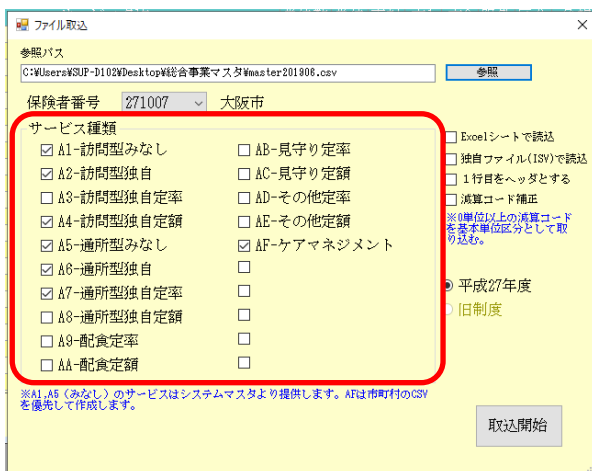


- ④ 事前に準備したサービスコード表のファイル（CSV形式）を選択し、開く(O)ボタンをクリックしてください。



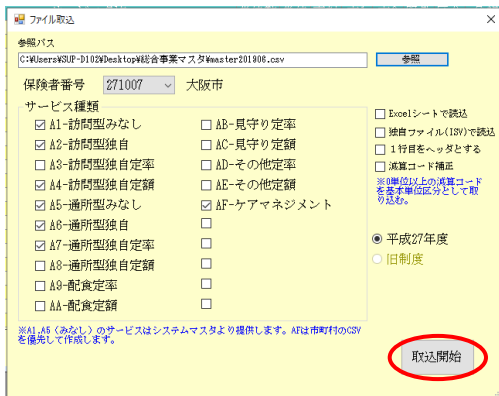
- ⑤ 選択した CSV マスタの内容にしたがって保険者番号と保険者名が表示されます。

※ このときに保険者名が「(新規)」と表示される場合、保険者台帳への登録ができていない市町村ということになります。保険者台帳を見直してください。

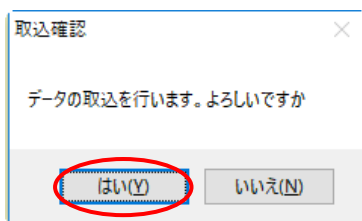


- ⑥ 該当するサービス種類に自動でチェックが付きます。通常このまま取込を行います。

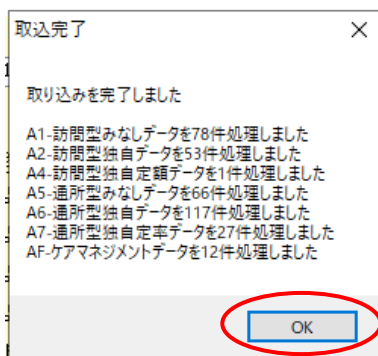
※チェックを外すことで取り込むサービス種類を抽出することができます。



⑦ **取込開始**をクリックします。



⑧ 取込確認画面が表示されたら、**はい(Y)**をクリックしてください。



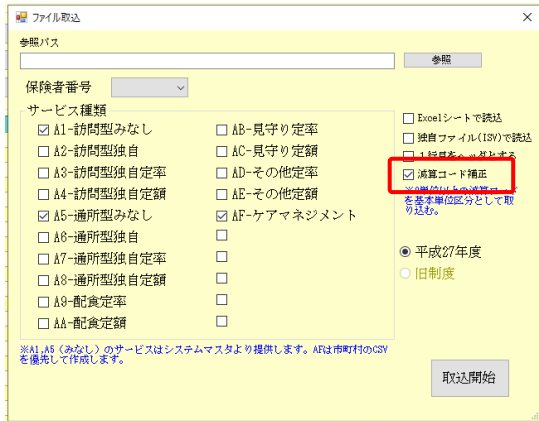
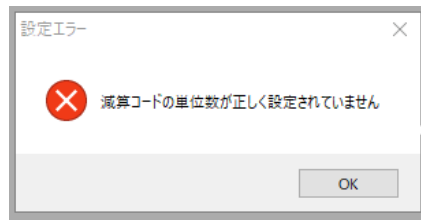
⑨ 取込完了画面が出て、処理された件数が表示されます。**OK**をクリックしてください。



⑩ サービスマスタ画面に戻り、「保険者番号」と「サービス種類」を選択すると、最新の施行年月日が表示され、取り込んだサービスコード表の内容を確認することができます。

減算コードの単位数が正しく設定されていません。

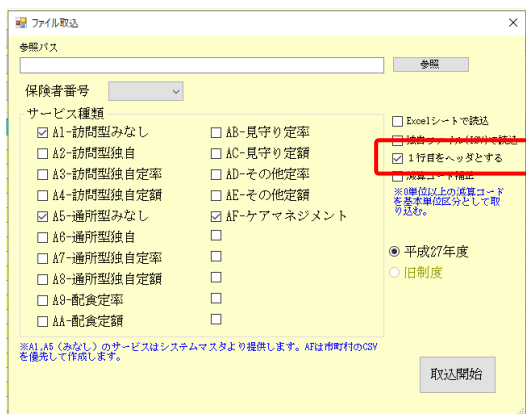
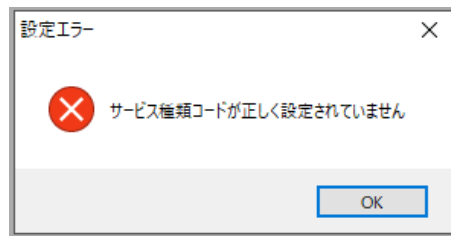
【減算コード補正】



市町村により、減算コードの補正が必要なケースがあります。CSV ファイルの取り込み時に上記エラーが出た場合は、「減算コード補正」にチェックをいれてからファイルの選択を行ってください。

サービス種類コードが正しく設定されていません

【1行目をヘッダとする】



市町村により、マスタの1行目に項目名が設定されているケースがあります場合、この場合は、減算コードの補正が必要なケースがあります。CSV ファイルの取り込み時に上記エラーが出た場合は、「1行目をヘッダとする」にチェックをいれてからファイルの選択を行ってください。

< 単位数の反映 >

注意!

サービスマスタの取り込みだけではすでに作成された予定、実績には反映されません。下記の手順で、利用者様毎に単位数の反映を行ってください。

提供票実績入力

提供月 令和01年10月分

利用者ID: 000002 | 番号: 000000002 | 作成年月日: 年_月_日 | 000001 | 修正

利用者名: 利用者1 | 届出年月日: 年_月_日 | ケアマネ11

要介護状態区分: 18-要支援2 | 訪問場所支給限度額: 10631単位 | 認定有効期間: 平成31年01月01日 | 令和20年01月31日

実業後要介護度: 年_月_日 | 居宅サービス適用期間: 平成31年01月01日 | 令和20年12月31日

変更日: 年_月_日 | 居宅介護支援事業所: 000001-インフォ居宅事業所

前月までの短期入所利用日数: 0日

単位数読込

利用票(介護保険)	別表(介護保険)	*利用票(総合事業)	*別表(総合事業)	利用票(特外)	別表(特外)	行挿入	行削除
サービス	00	01	02	03	04	05	06
1800	訪問支援サービス1						
1100	インフォ居宅事業所(総合)A2	1	1	1	1	1	1

公費情報 | 明細集計 | 備考 | 支給額 10,531単位 | 使用額 1,105単位 | 支給額 8,388単位 | 請求額 1,424単位

- ① 「提供票実績入力」画面または「提供票予定入力」画面にて「単位数読込」ボタンをクリックします。

提供票実績入力

提供月 令和01年10月分

利用者ID: 000002 | 番号: 000000002 | 作成年月日: 年_月_日 | 000001 | 修正

利用者名: 利用者1 | 届出年月日: 年_月_日 | ケアマネ11

要介護状態区分: 18-要支援2 | 訪問場所支給限度額: 10631単位 | 認定有効期間: 平成31年01月01日 | 令和20年01月31日

実業後要介護度: 年_月_日 | 居宅サービス適用期間: 平成31年01月01日 | 令和20年12月31日

変更日: 年_月_日 | 居宅介護支援事業所: 000001-インフォ居宅事業所

前月までの短期入所利用日数: 0日

処理完了

サービスマスタが読み込みされました。

OK

利用票(介護保険)	別表(介護保険)	*利用票(総合事業)	*別表(総合事業)	利用票(特外)	別表(特外)	行挿入	行削除
サービス	00	01	02	03	04	05	06
1800	訪問支援サービス1						
1100	インフォ居宅事業所(総合)A2	1	1	1	1	1	1

公費情報 | 明細集計 | 備考 | 支給額 10,531単位 | 使用額 1,172単位 | 支給額 8,388単位 | 請求額 1,424単位

- ② 単位数読込が完了すると、新単位が反映します。登録をクリックしてください。